



## 研修医がいる病院は良い病院です

土岐市立総合病院 院長 伊藤 昭宏



研修医とは、医師国家試験に合格してから2年間臨床研修を義務付けられた医師のことです。難関の医学部に入り、解剖学や生化学などの基礎医学から、内科はもちろん産婦人科や精神科などの臨床医学まですべての科の最新の医学的知識を勉強、実習して卒業試験に合格し、医師国家試験に合格した強者です。足りないものといえば臨床経験とコミュニケーション能力くらいでしょうか。

研修医という立場は、平成十六年度の新臨床研修制度から始まり、それ以前の多くの大学は、卒業生をそのまま自分の大学内の各診療科に入れていました（これを入局と言います、医局制度と呼んでいました）。医局制度の良いところは、医局の意向に従い医師の派遣などかなり自由にできることにありました。しかし、学生時代はすべての診療科について学んでいるにもかかわらず、卒業と同時に志望する科のことしかできない医師が多数となり、特に救急の現場や合併症をもつ複雑な患者様の診療で混乱が起りました。

名古屋大学では以前から卒業生がすぐに大学の医局に入るのではなく、市中の病院へ出向いて様々な診療科の臨床経験を積んでから大学に戻り専門科に入るという伝統がありました。全国的にみても特異な仕組みでしたが、当時の厚労省がこの方式を全国に制度化したのが新臨床研修制度と呼ばれるものでした。

この制度が始まった当初は、医局による医師の引き上げや人気の市中病院への集中などの問題も多く生じましたが、若い医師たちがいるいろいろな診療科をローテート研修することにより、様々な対応が可能となりました。また、研修医を受け入れる病院側にも研修医を教育するという重大な責任が生じました。

当院では昭和六十三年開設以来、名古屋大学方式のローテーション研修を行っており、毎年数名の研修医を受け入れており、当院での研修後多くの先輩医師が各分野で活躍しています。研修医が働きやすい病院を目指すとともに、我々も最新の医療を勉強することができ、地域の患者様にとっても安全で安心できる病院であることがアピールできます。

若い研修医を呼ぶことは、地域医療の活性化にもつながります。皆さんの応援をお願いいたします。

### 理念

地域の信頼に応えるために  
良質な医療を行います

### 基本方針

1. 人間尊重の医療に努めます
2. 常に研鑽し質の高い医療をめざします
3. 安全で満足できる医療を提供します
4. 医療をとおして地域社会に貢献します

# 老健やすらぎのご紹介



老人保健施設やすらぎでは、介護認定された方が在宅へと復帰出来るようになるまでの橋渡しを目的とした施設です。やすらぎは主に3つのフロアでの入所・通所業務と、それらを支えるリハビリ・栄養管理部門から成り立っています。

やすらぎ施設内での生活は、朝起きて着替える、車椅子に座る、食堂まで出てきて食事をとる等、日常生活を送ることそのものが全て生活リハビリとして大事な活動につながっています。加えて、入所者様ご本人の「やる気」がとても重要になってきます。スタッフは入所者様のやる気をお手伝いするために、日々お話をさせて頂いています。

やすらぎ施設は、入所者様の在宅復帰をお手伝いすることが目的であり、ずっと入所していただけるわけではありません。最近では高齢の方も多くなってきており、なかには食事が徐々にとれなくなる方もいらっしゃいます。ご家族の希望を伺い「看取り」をさせて頂く場合も増えてきています。

## デイサービス (地下1階フロア)

やすらぎ施設の地下1階では、要支援や要介護の認定を受けている利用者が自宅での日常生活を問題なく過ごせるようになることをめざして、デイ・リハビリサービスを行っています。自宅での入浴が困難な方でも、スタッフが付いてその方に合わせた方法でゆったりと入浴していただいています。そのほか、理学療法士や作業療法士によるリハビリ指導のもとに歩行訓練などを行っています。

スタッフの温かいおもてなしと通所者様同士の楽しい団らんの中で、穏やかな一日を過ごしていただいています。



1階では、入所者様が安心して穏やかな生活が送れるような環境づくりを目指して取り組んでいます。そのためには温かい表情や言葉でやすらげるように接し、入所者様やご家族様の想いに対応しています。また、入所者様の様々な状態に応じて個別にケアを行っています。入所者様一人ひとりにやってみたいことを聞き取り、希望の多かった園芸活動を生活リハビリの一環として取り入れています。園芸活動を通じて「できない」と思っていたことを、少しのお手伝いで「できた」にすることによって入所者様の笑顔が増えると、スタッフとしてとてもうれしく思います。

温かみのある家庭的な雰囲気を提供しながら、在宅復帰へのお手伝いをさせていただきます。

## 一般棟

(1階フロア)

## 認知症棟

(2階フロア)

やすらぎ施設の2階には、主に認知症のある方が多く入所されています。

入所者様に対し様々な行事を催していますが、最近はスタッフと一緒にできる入浴剤作りに挑戦しています〔写真はヨモギを袋に詰める作業をしているところです〕。このような生活を通したリハビリを行うことによって、認知症であってもその人らしく明るく笑顔で楽しく過ごしていただけるように支援することを心がけています。常に寄り添いお話を聞き、入所者様の思いに沿うように関わっています。



栄養管理部門では、管理栄養士による入所者様や通所者様への栄養管理と指導を行っています。その一環として、月に一度、入所者様の参加による「手作りおやつ」を実施しています。入所者様それぞれの活動レベルに合わせて作業を分担し、各フロアで人数分を調理します。料理のお好きな方も多く、皆さま笑顔で参加されます。普段のおやつとはひと味違ったおいしさがあるようです。

## 栄養管理部門

(厨房フロア)

日々雇用職員を募集しています。

- ◆ 薬剤師 …………… 1名程度
- ◆ 理学療法士 …………… 1名程度
- ◆ 看護師 …………… 若干名
- ◆ 診療アシスタント(MA) …… 若干名
- ◆ 介護員 …………… 若干名

詳細は、総務課 ☎0572-55-2111 内線2860 鈴木までお問い合わせください。

# 新任医師を紹介します

4月1日赴任 耳鼻咽喉科 医長

**和田 健一** 愛知医科大学病院より



4月より耳鼻咽喉科に勤務させていただいております。当院耳鼻科は2人常勤ですが、外来も手術も行っております。ご満足いただける医療を皆さまに提供できるよう日々精進していきます。よろしくお願いいたします。

1月1日就任 研修医

**吉田 健司**



今年1月より勤務させて頂いておりますが、日に日に土岐市の風土の良さを感じています。ここにいる間に自分の陶器を1つ作れたら、大変嬉しく思います。

4月1日就任 研修医

**平野 亮太**



4月より土岐市立総合病院で研修させて頂くことになりました。修行中の身ではありますが、土岐市の皆様のお役に立てるよう、日々、精進していきたく思っております。何卒、宜しくお願いいたします。

4月1日就任 研修医

**森嶋 亮**



本年4月より土岐市立総合病院にて研修させて頂くことになりました。地域の皆様に貢献できるよう日々精進していきます。よろしくお願いいたします。

## 新しい診療科

### ◆リウマチ・アレルギー科外来を始めました



リウマチ・アレルギー科外来では膠原病・リウマチ疾患、アレルギー疾患、甲状腺疾患などを診察します。

リウマチ疾患は、原因不明の発熱や倦怠感、手指の冷感、関節が痛むときなどに疑います。免疫異常により関節・皮膚・内臓に炎症が出現します。代表的なものに関節リウマチ、強皮症、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎、混合性結合組織病、シェーグレン症候群、ベーチェット病、血管炎症候群などがあります。これらの疾患は、以前は対応が難しかったものでも、治療が年々進歩しています。特に代表的な関節リウマチは、抗リウマチ剤、MTX、生物学製剤などを用いることで大幅な改善が期待できます。そのほか強皮症、全身エリテマトーデス、筋炎なども新たな治療薬が増えてきています。全身の状況を把握しながら合併症に細心の注意を払い、治療をすすめていきます。

アレルギー疾患も治療が進歩しています。喘息、アレルギー性鼻炎、薬物アレルギー、好酸球増加症などを診察しますが、特に喘息はステロイド吸入の導入により大幅に改善するようになってきました。また、対応が困難であった難治性喘息も抗体製剤などによりコントロールが可能になってきています。

甲状腺疾患は10人に1人の割合でいるといわれています。甲状腺ホルモンが増加するバセドウ病、低下する橋本病などが代表的ですが、その他にもさまざまな甲状腺の病気があります。触診、エコー、血液検査、経過などにより迅速、的確に診断し対処します。

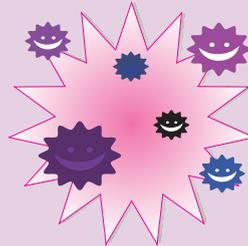
これらの病気でお困りの方に、個別に最適な治療を提供していきます。

### ◆ご存知ですか？「選定療養費」

今年4月から紹介状を持たないで大病院（500床以上）等を受診した場合、保険外で初診時に5,000円以上の選定療養費が必要となりました。当院の選定療養費は、従来どおり1,080円です。患者さまにつきましては、できるだけ「紹介状（診療情報提供書）」をご持参いただくことをおすすめします。

### 今年3月に『肝疾患専門医療機関』に選定されました。

岐阜県が実施している「肝炎ウイルス検査」だけでなく、肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業の「肝炎ウイルス陽性者の方への初回精密検査」を当院でも受けることが可能となりました。事業の詳細は、最寄りの保健所にお問い合わせください。



# 外来診療表

平成28年7月

診療科名		月	火	水	木	金	備考
内科	1診 (内分泌)	吉田 仁美	川喜田 節代	月山 克史	吉田 仁美	川喜田 節代	*3診 (新患) 以外は 予約制
	2診	高橋 光太 (呼吸器)	山内 辰也 (血液内科)	加藤 俊夫 (呼吸器)	山内 辰也 (血液内科)	浅野 周一 (呼吸器)	
	3診 (新患)	芦刈 ゆみ	上田 一裕	当番 医	堀井 誠	脇田 隆寛	
	5診	堀井 誠 (内分泌)		脇田 隆寛 (内科一般)	上田 一裕 (内分泌)	池庭 誠 (内分泌)	
	6診 リウマチ・アレルギー科		西尾 克彦		西尾 克彦	西尾 克彦	
	7診 (消化器)	藤本 正夫		藤本 正夫			
	8診	亀谷 良介 青山 英和	ペースメーカー外来 (第2火曜午後) 住田 有弘	住田 有弘	当番 医	住田 有弘	
	透析予防外来(PM) 禁煙外来(PM)		脇田 隆寛		池庭 誠		
神経内科	2診	三竹 愛子	土川 聡	芦刈 ゆみ	三竹 愛子	土川 聡	*予約制
	3診	高橋 典三	大塚 康史	高橋 典三		大塚 康史	
	内科 10診		河野 親夫	三竹 重久 (PM、もの忘れ外来)			
腎臓内科		村山 慎一郎	村山 慎一郎	三輪 真幹 村山 慎一郎	村山 慎一郎	村山 慎一郎	
外来ドック室		清水 豊	清水 豊	伊藤 昭宏	芦刈 ゆみ 脇田 隆寛	上田 一裕 堀井 誠	*予約制
整形外科	1診		西本 聡	木村 昌芳	西本 聡	西本 聡	*予約制
	2診	武田 太樹					
	3診	市瀬 彦聡	中川 研二		前田 篤志		
	リウマチ外来(PM)		中川 研二 (第1・3週)				
外科	1診	伊藤 昭宏	榎間 勝利	川西 順 (血管外科)	川西 順 (血管外科)	榎間 勝利	ストーマ外来 毎週火曜日
	2診	大本 孝一	大本 孝一	榎間 勝利	伊藤 昭宏	川西 順 (血管外科)	
	呼吸器外科外来(PM)					沼波 宏樹	
小児科	1診	元吉 史昭	元吉 史昭	元吉 史昭	川本 典生	元吉 史昭	*予約制
	2診		中野 正大				
	特殊外来(PM)	(予防注射) 元吉 史昭	(喘息・アレルギー) 元吉 史昭		(喘息・アレルギー) 元吉 史昭		
耳鼻咽喉科	1診	清水 崇博	清水 崇博	清水 崇博	清水 崇博	第1・第3 清水 崇博 第2・第4 和田 健一	*予約制
	2診	和田 健一	和田 健一	和田 健一	和田 健一	伴野 真哉	
眼科	1診	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏	
産婦人科	1診	田中 隆行			加藤 奈緒	田中 隆行	
脳神経外科	1診	野田 伸司	北島 英臣	野田 伸司	米澤 慎悟	北島 英臣	
形成外科	1診	中屋敷 典久	中屋敷 典久	神尾 健士郎 (第2・4週)	中屋敷 典久	中屋敷 典久	*予約制
	2診			中屋敷 典久			
泌尿器科	1診	金井 茂 山本 徳則	金井 茂	山本 徳則	金井 茂	金井 茂	
歯科		横井 彰	横井 彰	横井 彰	横井 彰	横井 彰	*予約制
精神科	1診		加藤 美樹	加藤 美樹	加藤 美樹	鈴木 幹央	*予約制
	2診					関 正樹 (特殊外来)	
皮膚科	1診			松山 かなこ		守屋 智枝	
リハビリテーション科		当番 医	当番 医	当番 医	当番 医	当番 医	*予約制

この色表示は、非常勤の医師を示しています。

- ◇受付時間 午前8時30分～午前11時30分まで
- ◇休診日 土日祝祭日、および年末年始(12月29日～1月3日)
- ◇面会時間 午後1時～8時まで

## 2次救急当番のお知らせ

東濃厚生病院(瑞浪市)と輪番制で、土岐市、瑞浪市の2次救急当番を行っています。時間外や土曜日、日曜日、祝祭日については、毎週(火)(金)と第4(水)及び、第2、4(土)(日)が当院の2次救急当番になっており、救急車の受け入れを行っています。(診療科によっては受け入れられない場合があります。)

※各診療科目担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。

\*印の診療科は、予約制となっております。  
(初診でかかられる方は、あらかじめお電話でご予約をお願いします。)

## 土岐市立総合病院 併設：土岐市老人保健施設「やすらぎ」

〒509-5193 土岐市土岐津町土岐口703番地の24

電話：(0572)55-2111 FAX：(0572)54-8488 E-mail:byoin@city.toki.lg.jp